

令和7年度 春田小学校 学校教育の努力点とその推進計画（案）

1 学校教育目標

人間性豊かな春田の子ども ーともに学び、ともに伸びるー

2 本年度の学校教育の努力点のテーマ

「思いや考えを伝え合い ともに学ぶ 春田っ子（3年次）」

～单元内自由進捗学習を通して子ども中心の学びを目指す～

3 研究のねらい

本校は、名古屋市全ての子どもが学びを通して自分らしく、幸せに生きていくことができるよう基本的な考えを示した「ナゴヤ学びのコンパス」を基に、推進委員会や努力点全体会を通して教職員で対話し、学習方法や目指したい子どもの姿を共有して実践を行っている。

昨年度からどの学級においても自由進捗学習を取り入れており、子どもは自分に合った課題を設定して必要な方法を選択したり、必要に応じて友達や先生の力を借りたりしながら学習に取り組んできた。教師も子どもが自ら学びに向かうための学習過程や学習環境の工夫に努めてきた。実践を通して、子どもは必要感をもって学習に取り組んだり、友達との助け合いから安心して学び合えたりすることができた。

そこで本年度は、「思いや考えを伝え合い ともに学ぶ春田っ子（3年次）」～单元内自由進捗学習を通して子ども中心の学びを目指す～を研究主題とする。昨年度の成果を生かしながら、本年度は单元内自由進捗学習を通して、子どもの自律性と協働性を育てていきたい。单元内自由進捗学習とは、子どもが自分の理解度やペースに合わせて学習ができ、個性を尊重しながら学力や学習意欲を向上させる学習方法である。一斉授業の中では理解不十分だった内容を重点的に学習したり、すでに理解している内容に時間を掛けすぎたりすることを防ぐことができる。本校では、成長段階に応じたステップ表を基に各学年の子ども像を設定し、学習の中で教師ではなく子どもが中心となって課題や学ぶペース、方法、内容を自己選択・自己決定したり、振り返ったりしながら自己調整をして学び続ける姿を目指していく。单元内自由進捗学習における教師の役割は、子どもが主体的に学べるようにサポートし、環境を整え、適切な振り返りや評価が求められる。本年度の研究を実践することで、単元の終わりには学習意欲や理解度が高まり、自分が成長していることを子ども自身に気付かせて、单元内自由進捗学習の良さを実感させたい。

社会の変化に対応する力が求められる世の中で生きていくためには、必要な場面で適切な情報を入手し、自己選択・自己決定して行動する力が大切と考えるため、本研究では教科の特定はせず、学習面・生活面・特別活動・自主学習など適切な場面を通して育成していきたい。

4 目指す子ども像と教師の姿

以上の考えの基、本校で目指す「思いや考えを伝え合い ともに学ぶ 春田っ子」～单元内自由進捗学習を通して子ども中心の学びを目指す～とは次のような姿である。

- ◇ 单元内自由進捗学習を通して、課題解決に向けて、学ぶペースや方法、内容を自己選択、自己決定し、振り返りながら学び続ける姿（自律）
- ◇ 分からない友達がいれば助け合ってともに学び合う姿（協働）
- ◇ 子どもたちの学びを支える教師の姿（伴走）

5 実践計画（内容）

(1) 実践の重点

目指す子ども像に迫るために、以下の手立てを重点に研究を進めていく。

ア 成長段階に応じたステップ表を基に目指す子どもの姿（自律）

【各学年の目指す子どもの姿】

1年	先生から提案された選択肢から、めあてやゴール、学習方法を決めることができる。
2年	振り返りで、できたこと・できなかったこと・次に頑張りたいことを書くことができる。
3年	振り返りで、次時につながる学習のめあてを考えて、本時で活動することができる。
4年	自分にとって必要な課題や方法を適切に選んで取り組むことができる。
5年	学習の中から、自分が得意なこと・苦手なことに気付き、自分の力が高まる課題や方法を考えて学び進めることができる。
6年	学習の中から、自分の力が向上するように、自ら学習計画を立てて方法を選び、学び進めることができる。

※さくら組は、ステップ表に基づきながら実態に合わせて姿を考える。

イ 分からないことや相談したいことがあるときには、話し掛けるために立ち歩いて聞きに行ってもいいことにするなど、ともに助け合える学習環境や雰囲気づくりを整えるようにする。（協働）

ウ 教師は、児童一人一人の学習ペースや理解度を把握する。学習時間の中で、つまづいている子や停滞している子への支援も行う。振り返りで書かれていた必要なものを用意したり、困っていることや疑問に思っていることについてアドバイスをしたりする。（伴走）

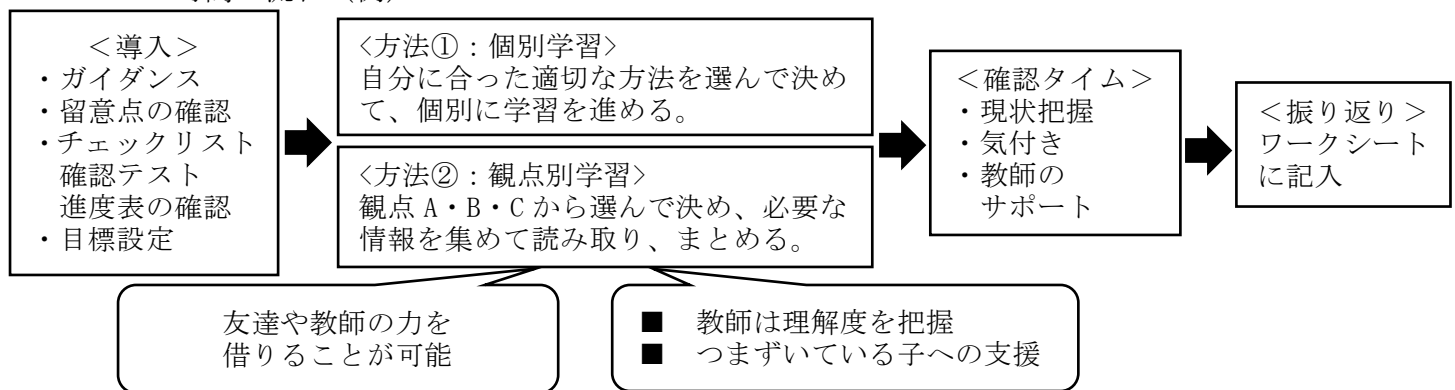
(2) 実践の方法

◆ 単元内自由進度学習を行う。

＜単元の流れ＞

一斉学習 (基礎・単元の見通し)	自由進度学習 (方法①：個別学習 方法②：観点別学習)	共有・練り上げ 評価（まとめ）
---------------------	--------------------------------	--------------------

＜1時間の流れ（例）＞



◇ 1時間の流れを繰り返すことで、自己調整力が育つと考える。

◇ 単元の終わりには学習意欲や理解度が高まり、自分が成長していることに気付かせたい。

＜低・中・高学年が自由進度学習を進める子どもの姿＞

低学年	- 先生から提案された選択肢から、めあてやゴール、学習方法を決める。 - 必要な学びが達成できているかチェックリストや確認テストをして学習する。 - 振り返りは、できたこと・できなかったこと・次に頑張りたいことを書く。
中学年	- 自分や友達の考えから、めあてやゴール、学習方法を決める。 - チェックリストや確認テストを行って、適切な課題や方法を選んで学習する。 - 振り返りは、分かったこと・疑問に思ったこと・次時につながる課題を書く。
高学年	- 自分でめあてやゴール、学習計画や方法を決める。 - 進度表やチェックリスト、確認テストを行って学習の理解度を把握し、自分の力が高まる方法を選んで学習する。 - 振り返りは、達成したこと・次時につながる課題を具体的に書く。

- ◆ 子どもの実態を把握する。(5月)
 - ・ 意識調査や観察等により、どのようなことに課題があるかを把握する。
- ◆ 目指す子ども像を学年で設定する。
 - ・ 学年ごとに、子どもの実態に合わせた目指す子ども像を具体的な姿で設定する。また、各学級で目指す子ども像に迫るための手立てを考える。
- ◆ 各学級1実践の授業を公開する。
 - ・ 目指す子ども像に迫るための活動を明らかにした実践を行う。

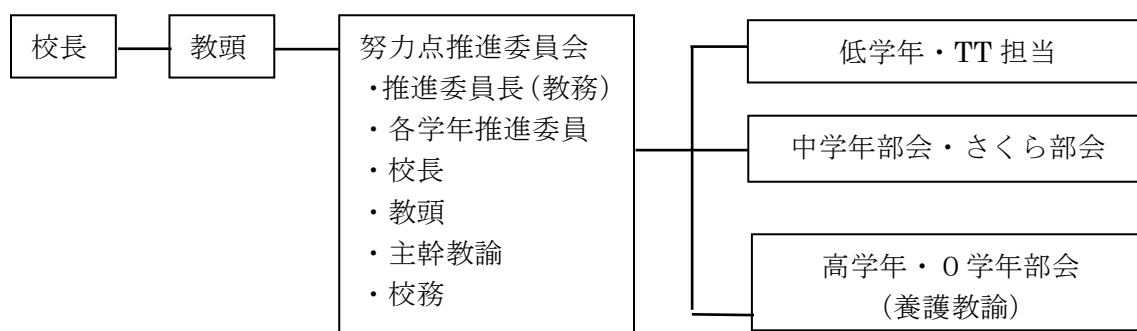
授業公開に当たっての留意点
・ 授業公開にあたっては、「単元の目標」「教材・指導の工夫」を簡単なメモ等で周知し、短時間の参観でも見どころを確認しやすいようにする。 ・ 公開授業は、前期と後期に割り振るように学年で調整する。 ・ 公開授業は、基本的には学年部会（低・TT担当、中・さくら、高・O学年部会）で見合うこととするが、時間が合えばどの学級の授業を参観してもよいこととする。 ・ 事前、事後の検討会は、学年部会で時間を設定して行う。 ・ 公開授業は、その内容とねらいに応じて、複数の時間を公開してもよいこととする。

- ◆ 指導力向上のために全体授業研究の場を設定する。
 - ・ 「単元の目標」「教材・指導の工夫」などを明らかにした授業メモを作成して実践を公開する。(授業メモの形式例あり)
 - ※ 全体授業公開は、6月に1回行う。
 - ※ 授業者は、第1回全体会後に話し合って決める。
 - ※ 全体授業後には全体で検討会を行う。
- ◆ 学年ごとに中間報告の作成をする。
- ◆ 子ども像にどれくらい迫ることができたかを検証する。
 - ・ どの場面でどのようなことが適切であったかを考える。
 - ・ 子どものどのような姿から判断するのかを考える。
- ◆ 1年間を振り返る。(1月)
 - ・ 意識調査を行う。
 - ・ 成果と課題を明らかにする。
 - ・ 課題を克服するための改善点を明らかにする。
 - ・ 最終報告の作成

6 保護者・地域への浸透方法

学級懇談会で保護者に本年度の努力点の取り組み方について説明する。授業参観や学校・学年便り、学校関係者評価委員会の場で取り組みの様子等を定期的に知らせる。また、授参参観や学校開放日に、努力点授業を公開し、努力点授業の成果を保護者・地域に発表していく。

7 組織図



8 年間予定（情勢に応じて変更します。）

4月9日（水） 努力点全体会

5月中 意識調査

5月中旬 年間計画締め切り 以後、各学年で前期分の授業実践を行う。

※ 年間計画の書式は、「文書管理→努力点→令和7年度」にあります。

6月9日（月） 全体授業事前検討会

6月26日（木） 全体授業・事後検討会

9月22日（月） 授業参観5限（单元内自由進度学習）

9月下旬 中間報告書締め切り

10月2日（木） 中間報告会

1月下旬 意識調査

1月下旬 最終報告書締め切り

1月29日（木） 最終報告会

9 年間計画の書式

第○学年 努力点 年間計画

1 目指す子ども

--

① 目指す子ども設定の理由

※ 4月中の学級の実態、気になる点や課題だと思ったこと、意識調査の結果など。

② 手立て（学年で共通したもの）

※ 学習面・生活面・特別活動・自主学習の中から考える。

2 年間計画（授業実践予定）

	月	授業実践予定（学級名）
前期	5	
	6	
	7	
	9	
後期	1 0	
	1 1	
	1 2	
	1	
	2	

※ 前・後期で偏りの無いように計画を立ててください。

「ともに学ぶ 春田っ子」アンケート（4～6年用）

（ ）年（ ）組（ ）番 名前

○ 次の質問を読んで、当てはまる数字に○を付けましょう。（ 人／ 人中）

	あてはまる	すこしあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
(1)あなたは学習のはじめに、なりたい姿に向けて、自分のめあてを考えることができますか。（自分の学び）	4	3	2	1
(2)あなたはチェックリストや確認テストなどを通して、自分の力や思いを確かめることができますか。（自分の学び）	4	3	2	1
(3)あなたは学習で、学ぶペースや方法、内容を自分で選んだり決めたりすることができますか。（自分の学び）	4	3	2	1
(4)あなたは学習の最後に、できたことやできなかったこと、次がんばることを振り返ることができますか。（自分の学び）	4	3	2	1
(5)あなたは学習の中で、友達や先生とともに助け合うことができますか。（友達との学び合い）	4	3	2	1
(6)あなたは学習のはじめより終わりの方が、やる気が上がり、できることが増えていますか。（自分の学び・学び合い）	4	3	2	1

○ はじめより終わりの方がやる気が上がり、できることが増えて、自分が成長できた学習について、くわしく書きましょう。

「ともに まなび はるだっこ」アンケート（1～3^{ねん}年・さくら^{くみよう}組用）

（ ）ねん（ ）くみ（ ）ばん なまえ

○ つぎのしつもんをよんで そうだとおもうすうじに まるをつけましょう。（ 人／ 人中）

	そうだ	すこし そうだ	あまり そうではない	そうではない
(1)あなたは がくしゅうのはじめに なりたい すがたをイメージして、じぶんのめあてを かんがえることが できていますか。 (じぶんのまなび)	4	3	2	1
(2)あなたは チェックリストやかくにんテスト をして、じぶんのちからや おもいを たしかめることが できていますか。 (じぶんのまなび)	4	3	2	1
(3)あなたは じゅぎょうで まなびじかんや かんがえるほうほうを じぶんでえらんだり きめたりすることが できていますか。 (じぶんのまなび)	4	3	2	1
(4)あなたは がくしゅうのさいごに、できた ことや できなかったこと、つぎにがんばる ことを ふりかえることができていますか。 (じぶんのまなび)	4	3	2	1
(5)あなたは がくしゅうのなかで、ともだちや せんせいと、ともにたすけあうことができ ていますか。(ともだちとのまなびあい)	4	3	2	1
(6)あなたは がくしゅうのはじめよりおわりの ほうが、「やりたい」「わかった」が おおくなりましたか。 (じぶんのまなび・ともだちとのまなびあい)	4	3	2	1

○ はじめより おわりのほうが、「やりたい」「わかった」がおおくなって、じぶんがせいちょう
できたがくしゅうについて、くわしくかきましょう。